

X-DiPLAS シンポジウム

# 生成AI時代の デジタルアーカイブ

「民博・学術知デジタルライブラリ (X-DiPLAS)」を  
バージョンアップする

2025年12月21日(日)

国立民族学博物館 第4 セミナー室

13:00~17:00 (12:30開場)

参加無料 | 要申込み 締切り 12月14日(日)

対面およびオンラインでのハイブリッド開催

定員: 対面 50名 / オンライン 250名 (いずれも先着順)



参加申込みはこちらから  
<https://diplas.net/simpo2025/>

背景画像は、対話型生成 AI の Microsoft 365 Copilot に、このシンポジウムのタイトルと開催趣旨などの情報を与えたうえで、「人工知能の顔（抽象的）と文化資料が交差するイメージで…」とリクエストして生成されたものです。



## 開催趣旨

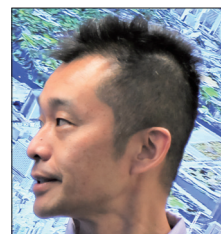
国立民族学博物館の「学術知デジタルライブラリ (X-DiPLAS)」は、過去におこなわれたフィールドワークで記録された貴重な映像音響資料を受け入れ、それらをデジタル化・データベース化していくことで、新たな研究や教育を推進するためのプラットフォームとして拡大、進化を続けています。

生成 AI 技術の急激な発展は、アーカイブの利用可能性を飛躍的に高める一方で、その保全・公開・利用に関する複合的な課題を突きつけています。本シンポジウムは特に以下の論点、「フィルムの保全（安全保護）の重要性」、「肖像権問題と公開をめぐるジレンマ」、「二次利用条件の在り方」などに焦点を当て、各分野の専門家と共に、デジタルアーカイブが次なるバージョンアップを果たすための具体的な方向性を探ります。

生成 AI が新たな知の創造を促す時代において、X-DiPLAS をはじめとするデジタルアーカイブが、学術研究の持続可能な基盤として、また倫理的配慮と法遵守のモデルとして機能するためのビジョンを共有することを目的とします。

## プログラム

- |       |             |                                                                                |
|-------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 12:30 | 開場          |                                                                                |
| 13:00 | 開会挨拶        | 福岡正太（国立民族学博物館 副館長）                                                             |
| 13:05 | 趣旨説明        | 小林直明（国立民族学博物館 プロジェクト研究員）                                                       |
| 13:35 | 研究発表        | 渡邊英徳（東京大学 教授）<br>『「記憶の解凍」の現在地：AI とのコラボレーションの進化とこれから』                           |
| 14:05 | 研究発表        | 常石史子（獨協大学 准教授）<br>「生成 AI 時代におけるイメージの真正性の担保」                                    |
| 14:35 | 休憩          |                                                                                |
| 14:45 | 研究発表        | 数藤雅彦（五常総合法律事務所 弁護士）<br>「生成 AI とデジタルアーカイブをめぐる法律問題」                              |
| 15:15 | 研究発表        | 大井将生（同志社大学 准教授）<br>「AI 時代の教育現場における資料の信頼性と二次利用条件」                               |
| 15:45 | 休憩          |                                                                                |
| 15:55 | パネルディスカッション | モデレーター：原田健一（新潟大学 フェロー / X-DiPLAS プラットフォーム委員）<br>パネリスト：渡邊英徳、常石史子、数藤雅彦、大井将生、小林直明 |
| 16:55 | 閉会挨拶        | 飯田卓（国立民族学博物館 教授）                                                               |



Hidenori Watanabe



Fumiko Tsuneishi



Masahiko Sudo



Masao Oi

主催：人間文化研究機構 共創先導プロジェクト（共創促進研究）「学術知デジタルライブラリの構築」国立民族学博物館拠点（X-DiPLAS）  
共催：国立民族学博物館・共同研究「学術資料デジタルアーカイブの活用法としてのデジタルストーリーテリング」  
——X-DiPLAS のアフリカ写真コレクションを例とした実践的研究（研究代表者：小林直明）  
後援：デジタルアーカイブ学会



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

国立民族学博物館研究協力課共同利用係

kikourenkei@minpaku.ac.jp

交通のご案内

大阪モノレール 「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車徒歩約15分

バス

阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

乗用車

万博記念公園「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分

※万博記念公園各ゲートで、当館でのシンポジウムに参加する旨をお伝えください。

※当館の展示をご覧いただくには別途観覧料が必要です。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

